

---

○議長（土屋清武君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

◎議案第23号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（土屋清武君） 日程第5、議案第23号 平成30年度松崎町温泉事業会計予算についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第23号 平成30年度松崎町温泉事業会計予算についてでございます。

詳細は担当より説明いたします。

（生活環境課長 馬場順三君 提案理由説明）

○議長（土屋清武君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○5番（藤井 要君） この温泉事業会計は毎度毎度聞くことですが、なかなか新規加入が見込めないという中で苦慮しているわけですが、今回も10件ほどですか、短期10年ということで、去年は1軒あったか、ないかくらいではないかと思うんですが、そこら辺のところを聞きたいということと、どういう戦略で・・・、実験をやるのか。

それと、あと、なんか200リッターかなんだかわかりませんが、そういうのにお湯を積んで、各家庭というよりは・・・、欲しい人にサービス・・・、それをもうやっているんでしょうけれども、その状況と今後の見込み、それも併せてお願いしたいと思いますけれども・・・。

○生活環境課長（馬場順三君） 温泉の新規加入のお問い合わせがございましたけれども、平成29年度におきましては、残念ながら新規加入というのは1軒もございませんでした。

それから、温泉のデリバリーの関係、いわゆる配達の関係で平成29年度から事業実施をしておりますけれども、こちらにつきましては、温泉の配湯可能区域、旧町内になりますけれども、ここを対象に回覧を回しまして、例えば、家の風呂で温泉に入りたいという方に対して温泉を無料でお届けしまして、温泉気分を味わっていただいて、加入に繋げるということで、実施をいたしました。

これは、500リットル入りの大きいポリタンクがありまして、ここに温泉を入れまして、小さいポンプがあるものですから、それで家庭の風呂場まで温泉を配達するという形で予定しま

した。

昨年度は、3件ほど申込みがありまして、ご利用いただいた方の意見としましては、孫が大変温泉が好きなので、ぜひ温泉を入りたいという声もあったわけですがけれども、なかなかそのご家庭につきましては、本管から距離が遠かったものですから、なかなか加入までは繋がらなかったという形で、29年度は3件ほどの申し込みがありました。

30年度も引き続きこういったデリバリーの関係については、継続してまいる予定でございます。

なお、30年度につきましては、配湯区域以外の・・・例えば、中川ですとか、岩科地区といったところにも範囲を広げまして、例えば、温泉を配達することによってどの程度の需要があるのかというようなことをアンケート等で把握しまして、もしそういった需要が多いようでしたら、その温泉を配達するという形で、また新たな営業項目として検討していきたいと考えております。

○5番（藤井 要君） 試験的に配湯してみたけれども、3件ほどということで、30年度はそれに対しては地域外ということを狙っているということですがけれども、予算的には盛っていないということですのでよろしいですね。わかりました。いいです。またあとで聞きます。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（伴 高志君） 27ページ、1目の配当金のところで、他会計貸付金利息というのがあるんですけども、ここの詳細はどのようになっていますか。教えてください。

○生活環境課長（馬場順三君） 27ページの他会計貸付金利息47万2000円の内訳ということではよろしいかと思えますけれども、先ほど水道事業とまつぎき荘事業の方に貸付をしているということでご説明申し上げましたけれども、この内訳としましては、水道事業10万5000円、まつぎき荘事業会計で36万7000円ということで、合計47万2000円を計上したところでございます。

○2番（伴 高志君） ここは、平均的・・・、上げ幅とか、特に説明の中にはそういうことはないですかね・・・。

30年度以前からの推移というのは、どうですか。

○生活環境課長（馬場順三君） これは、貸付利率が決まっておりますので、その利率に基づいて返還いただいているということでございます。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

○5番（藤井 要君） これは、先ほども水道の関係で聞きましたけれども、まつぎき荘に温泉を入れているわけですがけれども、これも収益の中でかなりの部分を占めているんじゃないかと

思いますけれども、収益というか・・・、だいたいどのくらいの率で、金額までわかればお願いしたいと思いますけれども・・・。

○生活環境課長（馬場順三君） この温泉使用料の関係につきましては、個人用ですとか、営業用、それから、使用口数の関係もありますので、年間支払額で比較をしてみますと、いわゆる公共施設の中ではまつぎ荘と海洋センター、この割合が非常に高いわけでございますけれども、年間の支払額で比較しますと、まつぎ荘が全体の10パーセントになります。金額としましては、612万円位になります。海洋センターにつきましては、全体の5パーセント位で、金額としては373万円位、この2つの公共施設で約15パーセントを占めているという状況になっております。

○5番（藤井 要君） そうすると、なかなか・・・、昨日、B&Gの儲からないとかなんだとかいろいろありましたけれども、これは止められても困りますし、温泉会計がかなりの部分を占めていると・・・、まつぎ荘も違う所にといいわけにもなかなかいかないわけですから、町長、これも困りましたけれども、うまくやっていくしかないと思いますけれども、町長、その辺のお考えがありましたら・・・。

○町長（長嶋精一君） B&Gをどうしようかということですか。

どうしようかと今は具体的に考えておりませんが、前にも言ったとおり、できるけど・・・、西伊豆町の人たちもよく活用しているものですから、活用を広めていくということは当面やっていきたいなと思っています。

○5番（藤井 要君） そうですね。ですから、まつぎ荘、B&Gがこけてしまうとこの温泉会計の方にも影響を及ぼすということで、これはお互いにマイナスになってしまうと困るということで、これからも盛り上げてもらわなければ、両方とも潰れちゃいますので、その時はまた町長、いろいろ手段を考えてやってもらいたいなと思います。

これは、回答はいま言いましたので・・・。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（伴 高志君） 1ページの主要な建設改良事業で、町営9号源泉送湯管移設工事ということですが、これは、内容をもうちょっと詳しく教えていただきたいのと、それ以外の町の工事の状況とか、もし・・・、今後の見込みとかがありましたら、教えてください。

○生活環境課長（馬場順三君） ただいまの町営9号源泉送湯管移設工事の内容でございますけれども、これは、桜田のより道売店がございますけれども、あそこの脇から・・・、山芳園さんがありますけれども、あちらに向かう細い道路がございます。その農道の拡幅工事を県で予定

しておりました、その工事に伴ないまして、水路越しに伸びている町の温泉管が約9メートルほどございますけれども、その部分の移設工事を実施するという内容でございます、これは県の方から繰入金として工事代金は入って来るという内容でございます。

それ以外の工事につきましては、30年度につきましては、300万円ほど枠という形で計上してございますけれども、具体的にここというのはございませんので、例えば、漏湯ですとか、そういったものに合わせて工事を施工するということで予定をしております。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第23号 平成30年度松崎町温泉事業会計予算についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（土屋清武君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---